



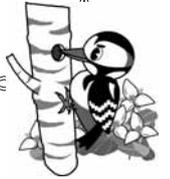
議会だより

なよろ

19

No.

2011.1.1 発行



11月26日、歯みがき指導  
(豊西小学校2年生)



12月13日、お店屋さんごっこ(光名幼稚園)



10月17日、学習発表会  
“南中ソーラン”  
(風連中央小学校)

## 第4回定例会

主  
な  
内  
容

定例会で決まったこと .....	2
新年のご挨拶・議員協議会 .....	3
審議日程・可決された意見書 .....	3
一般質問に13人・用語解説 .....	4 ~ 10
各委員会活動報告 .....	11
へこたれない・議会日誌・編集後記 .....	12

## 第4回定例会 11月30日から12月14日までの15日間

### ～ 排雪ダンプ助成 500万円追加 ～

1台当たり助成金を2,000円に、店舗併用住宅は1,000円

平成22年第4回定例会は、11月30日から12月14日までの15日間開かれた。

議案審議では、決議案1件、条例案19件、補正予算案6件、その他11件、報告3件、意見書案8件でいずれも可決採択と決した。

このうち決議案は、T P P参加の即時撤回を求める決議で、11月30日の定例会初日に全議員で提出し可決した。

一般質問は、12月10日、13日、14日の3日間行われ、13人の議員が登壇し、市政の課題について質問した。

#### 主な条例

##### 名寄市児童クラブ条例の制定

名寄地区と風連地区の児童クラブの条例と規則を統合して新たに制定するもの。平成22年第3回定例会(9月)で総務文教常任委員会に付託し、第4回定例会(12月)で、風連児童クラブの利用料を23年度に限り、月額4,000円を3,000円に減額する一部修正の委員長報告を受け、同報告のとおり修正可決した。

##### 仲町集会所条例の一部改正

平成23年3月で設置期間満了となる風連特別区事務の一部が市長の権限に属する事務へ移行することと、一般的な貸館施設とするため使用料の改正を行うもの。第4回定例会初日に、総務文教常任委員会に付託し、休会中審査した。最終日に委員長報告を受け、原案どおり可決した。



23年4月から貸館として有料で利用できる風連仲町集会所

#### 主な補正予算

##### 排雪ダンプ助成事業補助金

新たに店舗併用住宅への助成を行うことと、ダンプ1台当たりの助成金額を1,000円から2,000円に引き上げるため500万円を追加した。

##### 子宮頸がん等ワクチン接種事業

子宮頸がん予防・ヒブ・小児肺炎球菌のワクチンの接種事業を支援するための国の補正予算が成立し、必要な経費が措置される。名寄市でも、子どもの健康・命を守る視点から平成23年1月から実施するため、983万5,000円を追加した。

#### T P P参加の即時撤回を求める決議

菅首相は、臨時国会の所信表明演説において、突然にT P P(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加検討を表明した。T P Pは全ての関税撤廃を原則としており例外品目も無いことから、これに参加した場合、北海道農業に与える影響は甚大であり、農業を基幹産業とする名寄市の経済は壊滅的な打撃を受けることが懸念されることから、T P P交渉への参加に断固反対し、参加検討の即時撤回を求める決議案を全議員で提出し可決した。

## 迎春

川村幸栄	日本共産党	高橋伸典	公明	渡辺正尚	まちづくり	上松直美	田中繁司	谷内之	清風クラブ	大石健二	田中好司	山口祐敏	中野秀敏	緑風クラブ	日根野正敏	佐藤勝彦	木戸正彦	川村正彦	凜風会	熊谷吉正	佐藤正一	植松憲一	竹中	市民連合	小野寺一知	佐々木	持田正健	岩木正文	黒井喜一	駒井津喜	宗片浩一	東子春	市政クラブ
------	-------	------	----	------	-------	------	------	-----	-------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	-----	------	------	------	----	------	-------	-----	------	------	------	------	------	-----	-------



## 新年のごあいさつ

名寄市議会議長  
小野寺 一知

新年あけまして、おめでとうございます。  
市民の皆様には、健康で希望に満ちた新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。  
昨年は、長期にわたる景気の低迷の中、高温や集中豪雨等の異常気象と思われる現象が続

きました。被害を受けられました皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

国や地方の財政状況は、申し上げるまでもなく、厳しさを増しておりますが、道北における中核都市として意識する中で、行政課題や地域振興に取り組んでいくことが肝要であると考えます。多くの課題解決のためにも、議会としては、現状を把握しながら活動してまいります。

2011年が皆様にとって、ご多幸でありますことを祈念して、新年のご挨拶といたします。

### 議員協議会

## 望湖台廃止苦渋の決断

22年10月13日、市長が第3回定例会で市民ホール整備及び望湖台センターハウスの23年度廃止について方向性を示したことから、議員協議会が開催された。市民ホールは、文化センター西側に500～700席の規模で駐車場、大型車両の通行を考慮した建設構想が説明された。議員の質問に、各種イベントによる集客、パブリック・コメントによる意見の反映、スケートリンク代替地の検討等に努めるとした。望湖台の質問に対し、市長は「財政状況や市民との議論の経過の中で苦渋の決断であり、1年間は改修の必要性がないという理由で延長を決断した」とあらためて理解を求めた。今後は地域住民等に説明しつつ対応を図っていくとした。

11月30日の議員協議会では総合計画事業の

ローリング調整後の内容が説明された。前期計画の最終となる23年度は玄バラ集出荷調整施設補助、介護基盤緊急整備等特別対策、食肉センター改修、農林水産物処理加工施設新設、衛星画像データ導入等16事業を新規に追加し事業費合計15億6,603万円とし、後期計画の精神科病棟改築の前倒しや市民ホール建設設計、風連中校舎解体も取り組むと説明。後期計画策定は一般市民15名を含む65名規模の審議会を立ち上げ23年8月に素案をまとめパブリック・コメントの意見募集し修正後、10月に市長へ答申するとの説明を受けた。



## 審議日程

11月30日(火)	議会運営委員会
・開会	12月13日(月)
・委員長報告	・一般質問
(付託議案)	12月14日(火)
・行政報告	・一般質問
・議案審議	・委員長報告
・決議案審議	(付託議案)
議員協議会	・議案審議
12月9日(木)	・意見書案審議
総務文教常任委員会	・閉会
12月10日(金)	
・一般質問	

## 可決された意見書

- ・北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書
- ・ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書
- ・脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書
- ・免税軽油制度の存続を求める意見書
- ・米価下落に歯止めをかける対策を求める意見書
- ・領土に関する政府の対応に関する意見書
- ・子ども手当財源の地方負担に反対する意見書
- ・農業に関する国際貿易交渉への意見書

一 般 質 問



市民意見が第 1 歩！

市政クラブ  
佐々木 寿 議員

■ 駅横 23 年 10 月着工目途

問 (仮称)複合交通センター事業の進捗状況、今後の予定、基本設計(施設機能) 賑わい創出構想について伺う。

答 22 年度当初から用地取得調査を行い、土地開発公社、JR 北海道と 10 月に契約を締結した。23 年 2 月 28 日迄に補償物件は移転させ、10 月頃目途に本体建設工事に着手、24 年度完成を目指す。基本計画はバスターミナル、観光案内、会議室、業務の機能をもつ複合施設とし、市民意見の反映も考慮する。賑わい創出はそれぞれの機能の施設利用客はもとより、交通結節点でのイベントによる集客努力、更には隣接する民間事業者による整備で大きく賑わい創出に



病・大連携で看護師確保

市民連合  
佐藤 靖 議員

■ 一般会計は 195 億円規模に

問 12 月 3 日に 23 年度予算要求が締め切られたが、概算要求額及び 23 年度予算規模の見通しは。また、11 月を職員提案推進月間と位置付け、積極的な提案を求めていたが、提出された件数と反映についての考えは。市民と行政の協働を推進するため、地域連絡協議会への交付金額の拡大、さらには町内会で行う事業に原材料を提供し、労力は地域に担ってもらふ新たな制度創出に取り組むべきではないか。

答 概算要求は、歳入で 191 億 8,000 万円、歳出 199 億 2,000 万円だが、想定規模は 195 億円程度。職員提案は、ゼロ予算<sup>2</sup>で 18 件、事務事業改善 4 件などとなっており、取り入れられる

貢献できる。

■ 住民主体の福祉計画

問 市が策定する「地域福祉計画」と社協が策定する「地域福祉実践計画」の取組について伺う。

答 福祉計画策定に向け、地域福祉部会を新設し公募、関係機関、団体 15 名の委員で、22、23 年度で計画策定する。この間、市民から地域福祉に対する見方・考え方等広く意見を頂く。他の質問・市大の就活状況と入学生確保対策、学級定数、いじめ対策、成年後見制度普及、高齢者虐待について



(仮称)複合交通センター予定地の名寄駅横周辺

ものは、23 年度に反映させたい。協働実現のため、交付金枠の拡大については検討する。

■ 市立病院と大学の連携を

問 精神科病棟の改築スケジュールは。看護師確保のため、病院と大学がより連携を。

答 病院改築について、23 年度に院内検討委員会を立ち上げ、24 年基本設計、25・26 年度で改築、既存病棟解体を行いたい。来年度の採用が市立大学から 3 人と少ないのは重く受け止めている。連携を深めるため学長、院長と協議する。



改築に向け検討が始まる市立総合病院精神科病棟

一般質問



安心安全な除排雪作業を

公明 高橋 伸典 議員

■ スムーズな排雪作業を

**問** 昨年は、市外公共工事の影響で排雪ダンプの台数の確保が難しく支障が出たが、本年の市道の排雪作業に対する影響と今後の対策は。

**答** 排雪作業は、12月下旬から2月下旬で実施する。雪印乳業工場跡地と名寄営林署跡地など市街地に新たな雪堆積場を確保した。雪堆積場を市街地に確保することで効率的にダンプを動かし、1セットロータリー車1台あたりにダンプ12台だった排雪作業を、今年は1セット8台程度で3セット体制にし、市民要望に応える除排雪作業に努力する。

■ 名寄図書館の建設は

**問** 図書館の建設には、市民要望が大きい。現

状の図書館は、耐震構造上の問題もあり、市民から閲覧室も狭くて暗い、高齢者や体の不自由な方々も使用しにくいとの声がある。大学図書館も本館と分館に分かれていて、閲覧室も狭いのでは

**答** 建設から40年が経過し老朽化が進み、利用者には不便をかけている。過疎地域自立促進特別措置法で助成対象となったので、同計画に登載。大学図書館も含め総合計画の後期計画にも登載し検討する。



スムーズな除排雪で快適な冬の生活を



理想的な生活習慣を

凜風会 日根野 正敏 議員

■ 子ども達の生活習慣と学力

**問** 「早寝早起き朝ごはん」の良い生活習慣が、学力向上にも大きな影響があることは知られているが、生活習慣と学力の関係を調査したことがあるのか。調査をして説得力のある説明資料を作成すべきでは。

**答** 児童生徒の家庭生活実態調査を平成18年に行っているが、学力との比較はしていない。今年度行う学習状況調査で生活習慣と学力の関係についての因果関係も調査して明らかにしていきたい。

■ 農業経営悪化に支援を

**問** 本年の農業経営は、5月の低温、6月、8月の猛暑、7月の集中豪雨と一年を通し異常な

天候に見舞われ厳しい状況にある。農業被害状況とその支援対策は。

**答** 被害状況は10月の時点で被害総額12億円で、支援対策としては北海道の対策4項目と道北なよろ農協が独自に設定する緊急支援資金による利率1.5%に対する利子補給を検討している。その他の支援については、今後最終的な販売高や共済等も見ながら検討していきたい。他の質問・市立天文台「きたすばる」の活用と市内観光情報について



学力向上と非行防止に繋がる早寝早起き朝ごはん運動

一般質問



介護保険制度の動向

清風クラブ

上松 直美 議員

■ 介護保険制度の見直し

**問** 厚生労働省は、平成24年度の介護保険制度の見直しで、65歳以上の介護保険料が全国平均で月5,200円程度（現行で4,160円）になる試算を公表した。今後の名寄市における基本的な考え方と対策は。

**答** 平成23年度に、介護基盤緊急整備交付金で設置されるケアハウス等の影響を含め、現在の月額3,667円、年額44,000円が月額1,000円増となることが予想され、全道・全国市長会を通じ、国庫負担の増額等を働きかけていく。名寄市としても介護給付費準備基金の取り崩しも視野に入れ、第5期介護保険事業計画に向け、市保健医療福祉推進協議会に諮り、検討してい



市民主役のまちづくり

緑風クラブ

大石 健二 議員

■ 教育委員公募制を問う

**問** 児童生徒を取り巻く教育環境は近年、陰湿な暴力やいじめをはじめ、児童虐待や養育放棄等が大きな社会問題となっている。地域の教育課題等については、市民と共に考えようという姿勢の確立が急務。地域に根ざした教育委員の選任方法に「推薦（自薦・他薦）公募制」の導入についてどう考えるか。

**答** 教育行政のあり方も含め、ご指摘をもとに研究して、明るい教育施策となるようしっかりと検討したい。

■ 副市長2人体制はいつまで

**問** 平成23年3月をもって合併特例に関わる条例規則のほとんどが失効するが、現行2人体

く。

■ デマンド型交通の導入は

**問** 交通弱者の移動手段としてドアからドア、乗合で低額利用というデマンド交通システムを、地域活性化と整合させ、実施するべきでは。

**答** 名寄市地域公共交通総合連携計画策定のための試験運行を参考に、交通弱者の足の確保と公共交通のあり方を検討し、JR名寄駅横事業との整合性を図りながら積極的に導入を図っていきたい。

他の質問・市森林整備計画の役割について



岐阜県各務原市にある地域密着型老人ホームの様子

制の名寄市副市長の定数を定める条例と名寄市副市長担任意務規則については、どのような扱いになるのか。

**答** 副市長の定数を定める条例・担任意務規則は、今後10年ほど堅持する。現行の副市長2人体制をいつまで続けるかは、風連・名寄の両地域の振興を含めて考慮し判断する。

他の質問・名寄市の経済・観光振興策を問う・名寄市立大学の未来を問う



地域の教育課題は市民と共に考える

一般質問



たしかな取り組みを

凜風会

木戸口 真 議員

統一に向けた取り組みを

問 風連地区の合併特例区期間も終了を迎えるが、家庭ごみの収集体制の違いが改善されていない。統一に向けた目標を示すべきでは。

答 風連・名寄両地区では収集体制・回数が異なっている。収集回数は、平成23年度の予算編成に当たり、地域住民サービスの公平を図るために、収集委託業者の能力有無の判断、財政負担増の考慮の中で作業を進めている。収集体制の見直しは、人口減・高齢世帯の増・排出量などを参考に、23年度で地域の意見を十分に聞き、統一に向けて一般廃棄物処理計画の中で、平成24～28年までに明らかに示したい。

名寄の良さを知って



地域に活力を

市政クラブ

駒津 喜一 議員

商工業の振興について

問 中心市街地整備計画は、当初計画と変更なく進められているか。さらに商工業者の活性化を図る市内中小零細企業への支援として、各種助成金の限度額と中心市街地区とそれ以外の区域の支援に格差が無いように、支援する補助金に応じた適用地区の見直しをすべきである。

答 中心市街地整備計画は、一部利権者の確定に遅れがある部分等を除けば、大きな変更はなく当初計画通り進めていきたい。中心街近代化の用途指定商業地区とそれ以外の地区への支援店舗支援では、限度額に差があると考えられるので、今後審議会を通して検討していきたい。

データセンター誘致について

問 名寄市立大学の休暇村構想は、大学の白井ゼミの学生の提言を受け、学生の親族に名寄で一週間滞在して頂くものだが、実現に向けた取り組み状況は。

答 春休みに名寄市立大学の協力を頂き、モニターツアーを企画、実施に向けて準備を進めている。5組10名程度、2泊3日の行程で計画している。ツアーと並行してアンケート調査を行い、改善点・評価する点を把握し今後に生かしたい。

他の質問・日進小中学校教員住宅活用について



埋め立てごみの分別状況調査

問 寒くて雪の多い名寄市に設置すれば、冷却消費電力が30%以下で済む好条件を生かしたデータセンターを誘致する取り組みは。

答 今年度のデータセンター誘致に関する国の募集諸条件を満たす時間的な余裕と、予定する土地の確定ができないので、申請に間に合わなかったが、今後各関係機関の動向をサーチして検討していきたい。

他の質問・星守る犬映画のロケを観光資源に・電子自治体の進捗状況について



元気の出るまちづくりを

一 般 質 問



風連地区公共施設移転後

緑風クラブ

田中 好望 議員

■ 跡地利用について

**問** 福祉センター解体後の跡地について、国保診療所解体時期及び跡地について、風連中学校解体後の跡地について。

**答** 福祉センターは、平成 12 年増設となった北側部分は改修をして風連児童館として残し、解体後の跡地は緑地広場とする。国保診療所は、23 年度駅前に移転後解体し、市街地域の環境改善と公共駐車場として整備する。風連中学校は平成 24 年に解体工事及び緑地整備事業を行う。

■ 今後の農政課題について

**問** 後継者、担い手確保について、農地流動化 対策について

**答** 農業後継者の就農を奨励するため、農業後継者育成奨学金を受けた方への助成、奨学金を借りずに就農及び U ターン就農した人に農業後継者就農奨励補助金。地域農業における担い手及びリーダーの育成を図るため、地域農業担い手育成事業、農業青年活動支援事業、農業青年チャレンジ事業、新規就農者支援事業。

農地流動化は、今後厳しい状況となることが予想されるが、平成 21 年度の農地法改正で創設された農地利用集積円滑化事業等の情報収集を行って農地流動化の対策としていく。



風連福祉センターは、昨年 11 月までに解体し機能は交流センターへ移転された



市民に情報提供を

市民連合

竹中 憲之 議員

■ 生活保護者の現状

**問** 生活保護者の現状と世帯数及び各種制度の市民への周知のあり方について

**答** 生活保護は健康で文化的な生活水準を維持し、最低限の生活を保障し、自立を助長するもので、9 月現在 246 世帯が対象で、都市部(札幌・旭川・函館)を除く全道 32 市中 30 番目と低い位置にある。各種制度の市民への周知は、関係部署で制度変更時に広報・チラシを作成して配布並びに公的機関に配置をしている。

■ 交通安全対策について

**問** 北海道の交通死亡事故件数はワーストワンであるが、名寄市における交通事故件数と交通安全対策の周知のあり方及び踏切事故対策は、

**答** 交通事故件数は 11 月末で 43 件、負傷者が 46 名となっている。安全対策は、関係機関の協力のもと、年間 6 期 60 日の運動を重点に、街頭啓発・安全教室など様々な取り組みをしている。踏切事故対策及び啓発活動は、広報で注意を呼びかけている。また、踏切事故防止キャンペーンに協力し、PR に参加している。他の質問・道路河川耕作地農業施設の災害と復旧状況について・小中学校に市立大学、病院と連携した児童心理学導入の体制づくりを



交通事故ゼロを目指して

一般質問



特例区後は地域協議会

凜風会

佐藤 勝 議員

地域課題を審議

**問** 平成23年3月で5年間の風連特例区設置期間が終了する。合併後の急激な変化の緩和と地域自治の充実を図ることが目的だったが、その総括と特例区終了後の体制について伺いたい。

**答** 合併特例区の総括として、合併前の地域住民の意見を反映すること、旧風連町独自の事業及び名寄・風連類似する事業の効率性と利便性を図ること、新市の一体性の円滑な確立に向け、22年4月から、行政区制度から住民自治組織制度（14町内会）に移行したこと。

特例区終了後は、合併特例区協議会を受け継いだ15人程度の委員で構成する「風連地区地域協議会」を設置し、地区内の課題を審議する。



建設・商工業界の振興を

市政クラブ

黒井 徹 議員

新市長の予算編成は

**問** 平成23年度の予算編成の基本方針と、市内の経済対策に繋がる建設・商工業界の振興策は。

**答** 平成21年度の決算、健全化の判断指標は好転したが、平成23年度予算編成に当たっては、新規事業は抑制しながら、名寄の財産を生かした総合的地域振興を図り、雇用促進に努める。風連特例区終了後の一体的行政の確立と、財政改革の見直しを行う。現段階では、専門職の配置は考えていないが、横の連携が図れる庁内組織改革を人事で行う。新規事業は食肉センター施設改修、玄バラ集出荷調整施設事業がある。

学力の低迷は非常事態

**問** 今回で4回目となる全国学力・学習状況調査が実施されたが、道内の結果は全国最低レベルに低迷しており、もはや非常事態だ。家庭学習が短い、テレビ・ゲームの時間が2時間を超えている、睡眠時間が足りないなどの課題解決に家庭と学校が一体となって取り組むべき。家庭の生活改善と学力向上に向けての解決策は。

**答** 生きる力の育成と自信を高めるよう努める。他の質問・事務事業評価の早期完全実施を・公民館分館活動の今後について

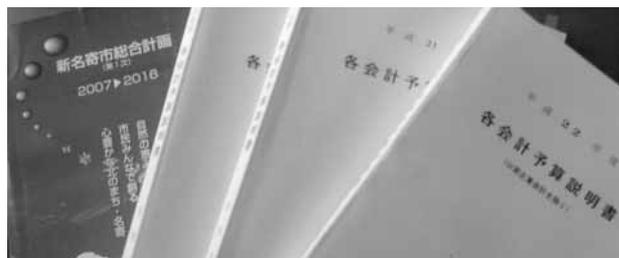


真剣な表情で課題に向かう児童たち

特例区終了後の行政

**問** 合併してから5年を終えようとしているが、特例区事業の評価と今後の課題は。

**答** 当初22事業を行っていたが、パークゴルフ場、街灯事業、保育料などを統一し、自治組織も行政区制度から町内会制度へ移行したが、祭りやイベント、ごみ収集体制、コミュニティセンターの管理体制など課題もある。それぞれの所轄部署で担当し、1年かけて検討する。現在の特例区協議会は、風連地区地域協議会を組織し、その役割を一部継承していく方針である。他の質問・基幹産業、農業の展望について



新市長のもとで期待される予算編成

一 般 質 問



安心できる医療制度に

日本共産党

川村 幸栄 議員

■ 国保の「広域化」とは

**問** 後期高齢者医療に代わる「新制度」の最終案が示された。一見もとの制度に戻ったように錯覚するが、75歳以上の大多数を都道府県単位の国保に入れ、70～75歳の患者負担を1割から2割に、75歳以上の保険料の軽減措置を段階的に縮小しようというもので、さらに2018年には現役世代の市町村国保の都道府県単位化（広域化）を明記。国の責任を都道府県に押し付け、医療費適正化（削減）と保険料の収納率向上に力を入れる「広域化」は住民の声が十分に届かず、医療・健康格差が広がるのでは。全国知事会は難色を示しているが、市の考えは。

**答** 国保財政の安定化と国保税の収納率を高

めるために望ましいと考える。

■ 市民のための図書館に

**問** 全国的に、図書館に指定管理者制度を導入する動きがあるが、名寄市の考えは。市民に喜ばれる市立図書館のために今後の取り組みは。

**答** 市民の知る権利を保障し、読書意欲を高めるための安定したサービスを提供できる現行のままが望ましいと考える。子どもの読書に関する環境づくりに、図書館司書が学校を訪問して行う「ブックトーク」などに取り組む。



医療費の負担が心配で診療・検査を控える傾向が強くなってきている

◆◆◆ 用語解説 ◆◆◆

1 成年後見制度

未成年を保護する未成年後見に対し、判断能力の不十分な成年者(認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など)を保護するための制度。自己決定権の尊重、残存能力の活用、ノーマライゼーションなどの新しい理念と、従来の本人の保護を優先する理念との調和を旨として柔軟かつ弾力的な利用しやすい制度として平成12年4月に導入された。

2 ゼロ予算

新たな予算を組まずに既存の施設や人材を使って行う政策・行政サービスをいう。職員の残業代など最低限の支出以外はしないため、非予算的手法とも言われる。予算の制約を離れることで議会の議決が不要となり、企画立案から実行まで迅速に行うことができる。平成15年に長

野県で初めて取り組まれた。

3 ケアハウス

軽費老人ホームの一種で、家庭環境や住宅事情などにより一人では生活に不安がある人を対象とし、居住機能と福祉機能を併せ持つ施設。60歳以上(夫婦の場合はどちらかが60歳以上)で、自炊できない程度だが、その他の日常生活の維持が可能な人が利用できる。

4 農地流動化

意欲の高い農業者に農地利用集積を進め、効率的かつ安定的な農業経営の育成を図ることで、地域農業の活性化と耕作放棄地の発生抑制、解消を目指す制度。一方、将来において条件不利地で流動化が進まず、農地が遊休化することも懸念されている。

## 委員会活動をお知らせします

### 総務文教常任委員会

第3回及び第4回定例会で当委員会に付託された4条例案について、10月13日、26日、11月24日、12月9日に委員会を開催し、「名寄市パブリック・コメント手続条例」他2件を原案のとおり可決すべきものと決定し、「名寄

市児童クラブ条例」は、一部修正を加え可決すべきものと決定した。また、11月24日には、風連中学校の新校舎の視察を行い理解を深めた。



風連中学校の新校舎(旧風連高校)を視察

### 民生常任委員会

委員会は、11月19日に開催し、市立総合病院から、医師全員の管理職扱いを改め、23年度から診療部長以上とし、それ以外の医師には正規の時間外手当を支給する。救急に備え休日に待機した医師に待機手当を支給するとの説明を

受けた。健康福祉部から、風連地区の保育所・幼稚園利用者対象の、子育て支援奨励事業、幼保一元推進事業の廃止の説明を受けた。



名寄市立総合病院・外来初療室

### 経済常任委員会

委員会は、11月25日に開催し、地元農業者と連携して「ひまわり油搾油事業」に取り組んでいる名寄給食センターのひまわり工房「北の耀き」を視察した。その後、JR名寄駅横整備事業の用地取得状況、(仮称)複合交通セン

ターに関して募集した市民意見について、ふうれん望湖台センターハウスの、今後の施設運営について等の説明を受け質疑を行った。



ひまわり工房「北の耀き」を視察

### 建設常任委員会

委員会は、11月29日に開催し、名寄市排雪ダンプ助成事業で、一般住宅のダンプ1台当たりの助成額を1,000円から2,000円に増額し、店舗併用住宅にダンプ1台当たり1,000円の助成を新設し、12月1日から実施することの説明

を受けた。また、平成22年度除排雪実施計画、上下水道料金のコンビニ収納の取り組状況、公営住宅長寿命化計画策定について説明を受けた。



交差点は見通しの良い除排雪が望まれる

### 議会運営委員会

委員会は、11月26日、12月10日に開催し、第4回定例会の会期・日程等について協議した。会期は11月30日から12月14日までの15日間とし、日程は、第3回定例会で総務文教常任委員会に付託した3件の委員長報告がされる

こと、議案第11号名寄市仲町集会所条例の一部改正についてを総務文教常任委員会に付託すること、13名の議員が一般質問を予定していることを確認した。

また、定例会初日に「TPP参加の即時撤回を求める決議」を全議員で提出することとした。その他、議会基本条例の内容精査を行った。

# へこたれない



民生児童委員として  
名寄市風連町中央 新保 利雄

社会情勢は目まぐるしく、速いテンポで変化しており、そして問題・悩み事は、多岐にわたり頻繁に、しかも複雑多様化しています。このような現実の中で民生委員としての役割は、今後ますます重視されてくるものと思われま

す。民生委員活動において担当地区はもちろん、組織的にも幅広い分野において取り組むことが各関係機関、団体、行政等から望まれ期待されています。各地区から限られた唯一の委員のため、行動範囲は限られますが、民生児童委員として基本知識をしっかりとって委員活動に取り組まなければならないと思っています。



コロポックルと歩んだ30年  
学童保育所コロポックル 桑原 桂子

今年で、創立30周年を迎えたコロポックル。名寄市に初めてできた民間の学童保育所です。子ども達が、大切に守られて生活できるように「学童保育所コロポックル」と名付けられました。それ以来放課後や学校休業日、月曜から土曜まで、子ども達の生活の場として大切に過ごしてきました。30年の間、苦しいこともありましたが、子ども達の笑顔に助けられてきました。コロポックルが地域の中で大切な場として守られてきたことを感じています。今年施設が移転しましたが、これからも「子どもを真ん中に」保育を大切に歩んでいきたいと思っています。

## 議会日誌

- 10月6日 ・茨城県結城市議会行政視察来名
- 12日 ・議会報特別委員会
- 13日 ・議員協議会
- ・総務文教常任委員会
- 14日 ・宮城県気仙沼市議会行政視察来名
- ・当別町議会行政視察来名
- 15日 ・島根県大田市議会行政視察来名
- 19~20日 ・茨城県北茨城市議会行政視察来名
- 21日 ・滋賀県愛荘町議会行政視察来名
- 24日 ・東京なよろ会総会（東京都）
- 26日 ・北海道議長会役員会（帯広市）
- ・総務文教常任委員会
- 11月2日 ・全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会（滝川市）

- 4日 ・全国市議会議長会基地協議会正副会長・幹事・相談役会議（東京都）
- 5日 ・宮城県串間市議会行政視察来名
- 8日 ・全国高速自動車市議会協議会第1回理事会（東京都）
- 9日 ・福島県いわき市議会行政視察来名
- 10日 ・本別町議会行政視察来名
- 12日 ・全国市議会議長会第181回理事会及び第89回評議員会（東京都）
- 17~20日 ・議長会宗谷線部会道外視察研修
- 19日 ・民生常任委員会
- 24日 ・総務文教常任委員会
- 25日 ・経済常任委員会
- 26日 ・議会運営委員会
- ・議会報特別委員会
- 29日 ・建設常任委員会

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は、3月に名寄市立大学として初の卒業生を送り出し、4月には新天文台のオープンと市長選が行われました。夏には映画「星守る犬」のロケがあり、大雨による冠水被害と目まぐるしい1年でした。

今定例会は、新市長のもとでの初の予算編成が進められている中で行われ、平成23年度の予

算に関する一般質問が多く出されました。政権も不安定な中で、難しい予算編成を迫られています。

今年は議会の改選期です。定数が26人から20人となる中で、市民の声を市政へ届けるという議会の役割がより強く求められるものと思います。議会として引き続き、市民との協働のまちづくりのために頑張ってまいります。（幸）

